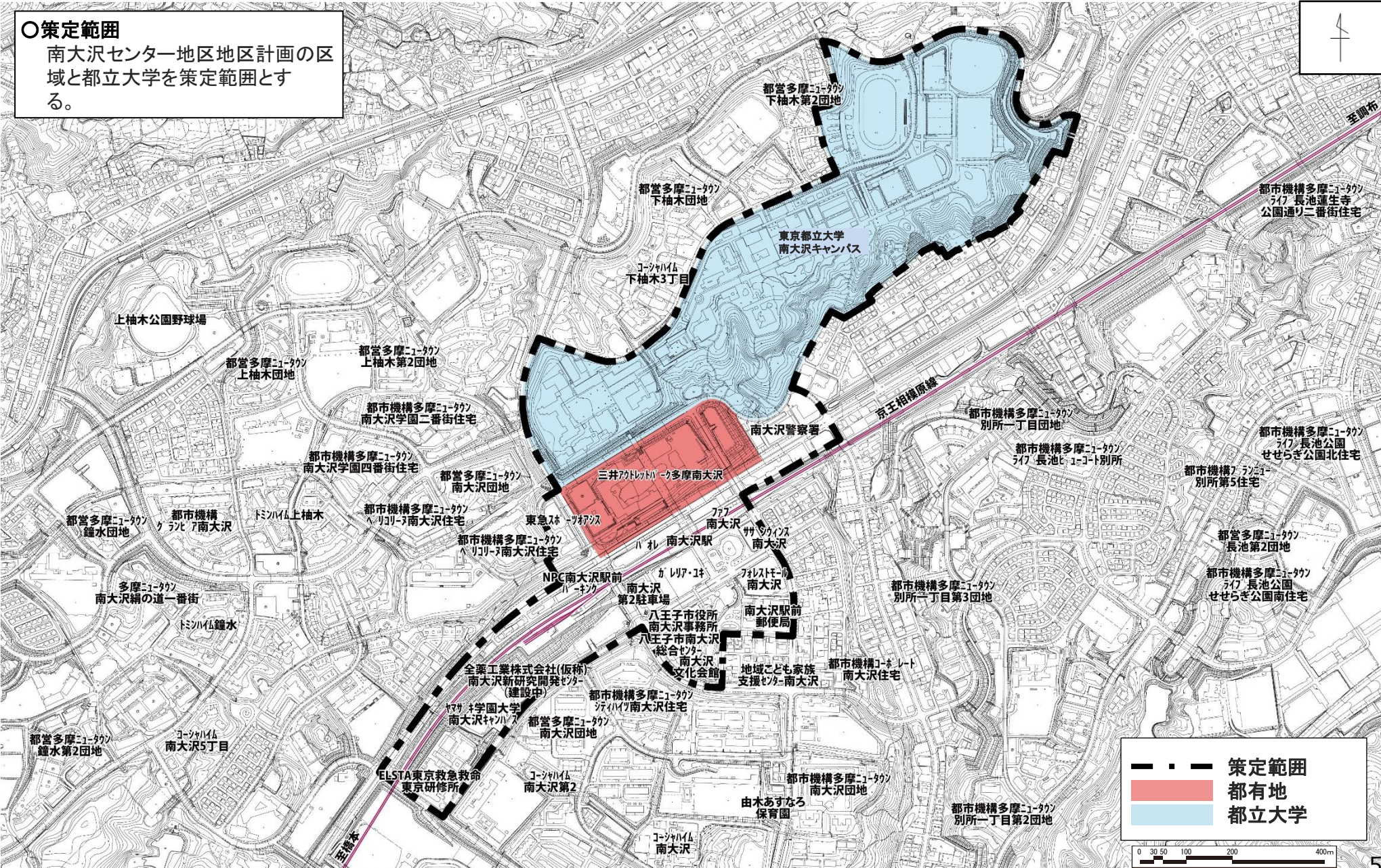


## V まちづくり方針について

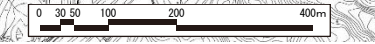
- 1 まちづくり方針の策定範囲(案)
- 2 まちづくり方針の構成イメージ(案)
- 3 地区が目指すべき姿(案)
- 4 分野別のまちづくりの方向性(案)

# V-1 まちづくり方針の策定範囲（案）

○策定範囲  
南大沢センター地区地区計画の区域と都立大学を策定範囲とする。



策定範囲  
 所有地  
 都立大学



# V-2 まちづくり方針の構成イメージ（案）

## 1 まちづくり方針策定の背景と目的

- ・まちづくり方針策定の背景
- ・まちづくり方針の目的と位置付け
- ・まちづくり方針の策定範囲

## 2 南大沢駅周辺地区の地域特性

- ・開発の経緯
- ・上位計画における位置付け
- ・地区の現況（交通インフラ等）
- ・周辺の開発動向
- ・課題

## 3 地区が目指すべき姿（概要は次項）

- ・地区内外の人が訪れる、にぎわいのあるまち
- ・まちづくりへの先端技術活用が進められ、イノベーションが生まれるまち
- ・国際性豊かなまち

## 4 分野別のまちづくりの方向性（概要はV-4項）

- ・土地利用の方針
- ・みどり、景観の方針
- ・交通ネットワークの方針
- ・エリアマネジメントの方針
- ・先端技術活用の方針

## 5 まちづくり方針の実現に向けた取組

- ・所有地のまちづくりへの有効活用
- ・地区計画のあり方
- ・地区周辺市街地との連携

## V-3 地区が目指すべき姿（案）

地域資源を活かしながら、多様な交流や先端技術が生み出され  
国際性豊かで にぎわいが創出されるまち

### 地区内外の人が訪れる、にぎわいのあるまち

- 課題 ▶
- 日常生活を支える生活利便施設や広く人を集める集客施設など多様な機能を組み合わせ、多くの人が集まるにぎわい拠点の形成
  - 駅を中心に拠点性を高めつつ、すべての人が移動しやすい環境の整備や住み替えに資する取組みを行い、地域全体で持続可能なまちの形成
  - 若者から高齢者まで多世代が交流し、多様なアクティビティの活性化を図る新たな仕組みや拠点の形成
  - 人々が集い、多様な働き方や学びができる環境の整備

### まちづくりへの先端技術活用が進められ、イノベーションが生まれるまち

- 課題 ▶
- 良好なインフラ環境や、都立大学をはじめとする大学・研究機関等の立地を活かし、先端技を研究開発・活用
  - 研究者、生活者等が交流し、それぞれの知がつながるための仕組みや空間の整備

### 国際性豊かなまち

- 課題 ▶
- 世界中から集まる高度な留学生や研究者の暮らしを支える環境の整備

## V-4 分野別のまちづくりの方向性（案）

### 土地利用

- 対象地区は、引き続き、多様な機能が集積する求心性の高いゾーンとして土地利用をはかる
- さらに、駅前街区については、新たな交流や技術創出に資する施設の立地を誘導するゾーンとし、拠点性を高める

### みどり・景観

- 多摩ニュータウンの良好な市街地景観に配慮するとともに、駅前の象徴的な通り景観を維持し、風格ある国際的にも評価される景観を形成する

### 交通ネットワーク

- 歩車分離が形成された、自動車と歩行者が共存する既存の交通ネットワークを活かしつつ、周辺の建物との連携を図り、立体的なネットワークを形成する

### エリアマネジメント

- 学生等の活力や知恵を活かし、より活発なアクティビティや交流が創出されるよう、大学・民間事業者・市民・行政による組織の組成を検討する

### 先端技術活用

- 都立大学を中心に、大学や民間企業等と共同で、先端技術の実証実験や技術開発等、ニュータウンのまちづくりに資する先導的な取組みを進める